

恵小広報たより

pta news letter
2026/02/04

広報委員会では、PTAによる子どもたちの学校生活を支える取り組みを、保護者の皆さんに分かりやすくお伝えするため、さまざまな活動を取材しています。今回は、健康安全委員会による「セーフティアップ活動」について紹介します。雪が積もる日が続き、道路状況が日々変わっていますので、改めて通学路の安全を考えるきっかけとなれば幸いです。

健康安全委員会の"セーフティアップ活動"とは

健康安全委員会では、家庭・学校・地域が連携し、児童の健全な育成と安全対策の強化を目的として、"セーフティアップ活動"に取り組んでいます。委員の方々に加え、「一人一役」として参加する保護者の皆さんとともに、学年ごとに活動月を決め、事前に確認した危険箇所を中心に黄色の旗を持って、見守りを行っています。

今年度これまで活動に参加した委員の方からは、次のような声が寄せられました。

「道路を横断する際には、
より危険だと感じる側に立って見守り活動をしました。」



「多くの目で見守ることで、
安全性が高まる感じました。」

「旗の振り方や信号待ちの立ち位置についても、
事前にインターネットで調べてから活動しました。」

「信号を渡る前に、大人が左右確認をしっかり行う
ことを心掛けました。」

実際に活動に参加した保護者の方々や取り組みから、この活動で大切にしているポイントが見えてきました



TIPS
01

危険を共有し、改善点を話し合う

活動後は報告書を学校へ提出し、内容を取りまとめてもらい、危険箇所や改善点を学校と委員会で話し合っています。

TIPS
02

活動する保護者の想い

笑顔で挨拶をして、なるべく多くの子と視線を合わせること。
"しっかり見ているよ！"ということが伝わればいいなあと思って参加しています。

健康安全委員会から、保護者の皆さんへ

登下校中の危険箇所を把握することは、子どもたちが安心して毎日を過ごすためにとても大切です。実際に通学路を歩いてみることで、普段は気づきにくい危険に気づくことがあります。保護者の皆さまが年に一度でも登下校路を歩き、日々の状況を確認していただくことが、子どもたちの安全につながります。

また、通学路と一緒に歩いたり、見守りの中で子どもたちと挨拶や声を交わしたりする大人の姿は、安全確認だけでなく、子どもたちの安心感にもつながります。これからも、家庭・学校・地域が協力しながら、子どもたちの安全を見守っていきましょう！

編集後記

今回の取材を通して、子どもの命を守ることは「誰かがやってくれること」ではなく、保護者一人ひとりの意識と、それぞれができる行動の積み重ねによって支えられているのだと実感。今朝は早速いつもより少し先まで見送りました。